



食のカレンダー

2023年10月

のげやまようちえん

食欲の秋です

実りの秋、味覚の秋がやってきます！
秋の味覚といたら何でしょう。
ナシ、リンゴ、ブドウ、サンマ、秋ナスなど…
食に関する話を交えながら、「旬」の秋の味覚を楽しみましょう。



おいしい！

10 October

●2日/豆腐の日

「10と2」のごろ合わせから。

●4日/イワシの日

栄養満点のイワシ。いろんな食べ方でいただきます。

●16日/世界食糧デー

世界には、食べ物がなくて困っている人がたくさんいます。
食糧不足について、一度考えてみましょう。



10月16日 世界食糧デー 世界の事情を知ろう！ 幼稚園でも考えます… すべての人と食べる幸せを分かち合える世界へ

10月は世界の食糧問題を考える世界食糧デー月刊と定められています。

10月16日は世界食糧デーです。幼稚園では毎年、世界食糧デーについてみんなで考え、取り組んでいます。

「世界食糧デー」とは世界の食料問題を考える日として国連が制定した日で 世界の一人一人が協力しあい、「すべての人に食料を」を現実のものにし、世界に広がる栄養不良、飢餓、極度の貧困を解決していくことを目的としています。今、世界では何が起きているか、皆さんは知っていますか？

世界中のすべての人が十分に食べられるだけの食料は生産されていますが、それにもかかわらず、信じられないほどの人たちが飢餓に苦しんでいます。

日本でも、貧困で食べることができない人もいます。

まだ食べられるのに捨てられている一方で、食べることさえも十分でない人たちもいます。

私たちに何ができるのでしょうか。

食べられることに感謝して「もったいない」「食品ロス」をなくしましょう。
SDGs「Sustainable Development Goals」です。

新型コロナウイルスの大流行により、世界中の経済状況が悪化しました。
特に途上国の人々は厳しい生活を送っています。
さらに昨年2月から続くロシアによるウクライナ侵攻により、食料、肥料、燃料など
価格高騰で世界の飢餓状況はさらに深刻化しています。

わたしたちの世界では、飢餓人口が8億 2800 万人
1分間に17人 飢餓で亡くなっています…

私たちに何ができるのでしょうか。
まずおとながその現実を知り、子どもたちにその年齢なりに伝えていくこと、
そして、いただいた恵みをもったいないくなく、美味しくいただくこと
から始めることが大切なのではないでしょうか…
それぞれできることを考えてみましょう…